

■ 病院概要

標榜科

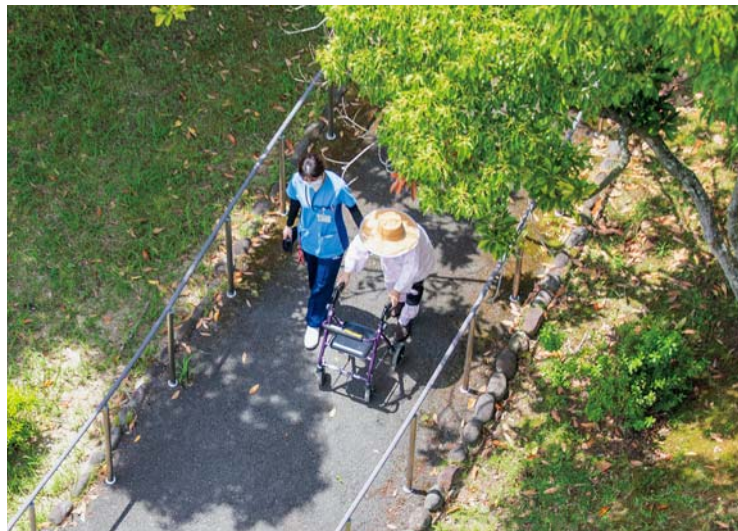
内科、外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、糖尿病内科、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

専門外来

もの忘れ外来、骨粗鬆症外来、腹膜透析外来、不整脈外来、弁膜症外来、禁煙外来

病床数(全112床)

- ・一般病床／27床
- ・地域包括ケア病床／45床
- ・回復期リハビリテーション病棟／40床



■ 関連施設

● 訪問リハビリテーション
● 通所リハビリテーションセンター
コンパス
TEL.0964-53-1633
FAX.0964-53-1650

● 訪問看護ステーション
みすみ
TEL.0964-41-2101
FAX.0964-53-2121
(居宅・訪看共通)

● 居宅介護支援センター
みすみ
TEL.0964-53-2120
FAX.0964-53-2121
(居宅・訪看共通)

● 健診センター
TEL.0964-53-1617
FAX.0964-53-1651

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<https://sk-misumi.jp>



発行／令和8年1月 社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



70 Take Free.
2026.1



健康フェスタ
ありがとうございました

年頭挨拶

検査室だより

「最新の超音波画像診断装置を導入しました」

〔特集〕入院セット一新／LINE公式アカウント開始

みすみ病院のできごと／部署紹介[居宅介護支援センターみすみ]

病院概要／関連施設



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 吉岡 正一

2026年 新年のご挨拶

地域に「なくてはならない病院」を目指して

新年明けましておめでとうございます。

昨年も、地球温暖化の影響でしょうか、日本のどこかで災害のニュースを聞いていた一年でした。ここ三角近辺も例外ではなく、8月の豪雨に被災された方々に、お見舞いを申し上げますとともに、新しい年が、平穏無事な一年になることをお祈り申し上げます。

昨年一年の振り返りと、今年の目標をお話します。

昨年は、コロナ禍のために途絶えていた、「健康フェスタ」を6年ぶりに開催しました。保育園児の体操、小中学生の演奏等、地元の皆様にも多数ご出演いただきました。消防、警察、トヨタ社の方々には、様々な車両展示や乗車体験を行っていただき、参加者の皆様に貴重な催しを提供していただきました。歯科の相談コーナー、当院職員による内視鏡体験、超音波検査体験、骨密度検査等のミニ人間ドック等々参加型アトラクションも大変好評でした。みすみ病院は、地域の皆様とともにあるのだということを改めて実感いたしました。こうした地域の皆様とのふれあいの場を今後も提供していきたいと考えております。

診療面でも新たなことを始めました。

当院では、通常のレントゲン検査、CTやMRI検査といった放射線検査を、毎月1,000件以上実施しておりますが、この全ての検査結果を、放射線科専門医が読影するようになりました。すなわち、内科や外科の各担当専門医と放射線科専門医の2人で放射線検査を読影するようになりました。これにより、読影の精度が格段に向上し、受診者の皆様に、より質の高い医療を提供できるようになりました。

また、新たな取り組みとして、オンライン診療を開始しました。脳神経外科の濱崎清利医師による“もの忘れ外来”を、もっとたくさんの方に受診していただけるように、直接来院していただかなくても診察が受けられるようになりました。宇城・上天草地域外の方も受診していただいています。「もの忘れが気になるけれども、病院に行くのは気が引ける」と言う方々も、スマホがあれば受診していただけます。気になる方は是非一度、お気軽にご相談ください。

新年早々から、禁煙外来を再開しました。コロナ禍で途絶えていましたが、多くの方々のご要望にお応えしての再開です。何千人もの肺癌患者さんを診療・手術してきた呼吸器外科医の私が担当します。今年こそ禁煙したいという方は、お気軽にご相談ください。

さて、今年の目標は、2年間不在であった常勤の整形外科医を迎えることです。

現在、非常勤の錦戸悦夫医師が週3日午前中の整形外科診療を行っています。たくさんの受診者が来院されています。常勤医がいれば、毎日途切れなく整形外科診療を提供できます。また、この2年間熊本市内に転送していた、骨折等の救急疾患にも常時対応できますし、必要があれば当院での手術も再開したいと思っています。地域の方々、連携していただいている医療機関の方々には、この2年間ご迷惑をおかけしました。常勤整形外科医が赴任すれば、皆様に安心していただけるのではないかと思います。

このように、済生会みすみ病院は、地域のニーズにお応えして、地域の皆様とともに歩む病院づくりを今年も進めて参ります。地域になくてはならない病院となるよう、職員一同頑張っておりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 吉岡 正一



最新の超音波画像診断装置を導入しました

＼超音波とは／

音とは、物が震えて起こる振動の繰り返しです。物が振動すると空気や水中などに伝わり音を伝え、この現象を「音波」と言います。たとえば太鼓を叩くと太鼓に張られた皮が振動し、この振動が周りの空気を押したり引いたりして空気の密度(圧力)が変化します。この変化が空気中に波となって伝わる現象が「音波」です。

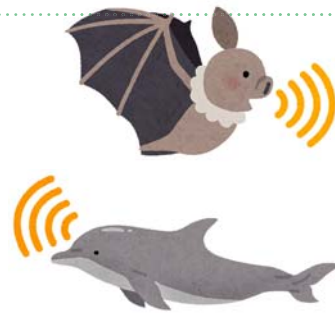
●音波と周波数

1秒間に空気が振動する回数を周波数といいHz(ヘルツ)と言う単位で表されます。振動の回数が少ないほどHzは低く音は低く聞こえ、多いほどHzは大きく音は高く聞こえます。ピアノの鍵盤中央にある「ラ」の音の周波数は440Hz、鍵盤右端にある一番高い「ド」の音の周波数は4186Hzです。

人に聞こえる音の周波数は個人差があり、年齢によっても変化しますが、およそ20Hz～20000Hz(20KHz)までと言われており、20000Hzを超える音のことを「超音波」と言います。

自然界における超音波

自然界には超音波を利用している生き物もいます。コウモリは喉から発する超音波を使って、暗い洞窟の中で虫などの餌を探したり、障害物を避けたりしています。イルカはおでこから出す超音波で仲間とコミュニケーションを取ったりしています。漁船などに付いている「魚群探知機」なども超音波を利用しています。



＼超音波の性質／

超音波は光と異なり固体の中でもよく伝わります。音は物質を振動させながら伝わるため、密度の高い方が良く速く伝わり、その進む速さのことを「音速」と言います。空気中より水中、水中より金属(固体)の方が速く進みます。また超音波には、違う物質に当たると反射する性質があります。たとえば、声が山に当たってはね返る「やまびこ」のような特徴を持っていて、この性質を利用し超音波検査を行います。



＼超音波検査について／

医療における超音波検査は、体表に当てた機械(プローブ)から体内に向け超音波を送信し、臓器や血管、骨などに反射し返ってきた超音波をプローブで受け取り、分かりやすく画像として処理することで、それらの位置や形、動きなどを確認することができ、異常がないかを診ています。被ばくや痛みがないため、体への負担が少ない検査です。



＼新たな超音波画像診断装置を導入／

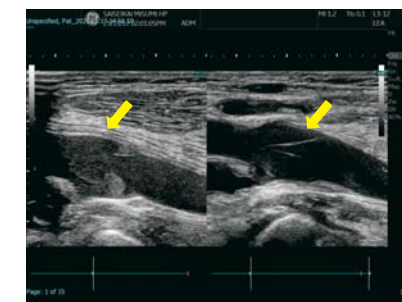
NEW!



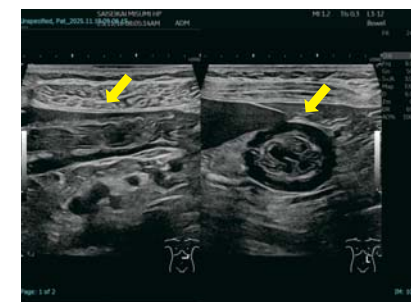
この度、検査室に新たな超音波画像診断装置を導入しました。本装置はAI支援による画像解析機能を搭載し、診断の精度と効率を大幅に向上させ、高解像度の画像表示により小さな病変の検出も可能となりました。操作性にも優れており、検査時間の短縮や患者さんの負担軽減にもつながります。また、脂肪肝を定量的に計測する機能もあり、技師による個人差も解消され、より正確な結果を提供できるようになります。

以前使用していた装置は心臓専用装置のため、他の領域(腹部や体表臓器)には使用できず、患者さんをお待たせすることがありました。しかし新しい装置は、腹部・心臓・血管・体表などの、全領域の検査に対応可能なため、待ち時間短縮にもつながります。

新しい装置の導入により、より質の高い医療提供が可能となり、今後の診療体制の強化に大きく貢献することが期待されます。



静脈内の血球と静脈弁



胃の断面



入院セットが新しく なりました！

2025年10月から、入院セット(おむつ・病衣・日用品)が新しくなりました。

	変更前 (～2025年9月30日)	変更後 (2025年10月1日～)
病衣	A社	小山メディカル サービス社
おむつ	B社	
日用品	個人購入	

導入に至った経緯としては、新型コロナウイルス流行期の面会制限により、患者さんへの荷物の受け渡しのご家族にとって大きな負担となっていました。そうした声を受け、より使いやすい内容に見直しを行いました。

病衣は肌触りの良い素材に変更し、浴衣タイプと甚平タイプの2種類をご用意しております。

入院中は療養に専念できるよう配慮するとともに、ご家族の負担軽減にもつな갑니다。



説明動画

詳しくは、当院ホームページまたは左記2次元コードから入院セットサービス内容一覧説明動画をご覧ください。

医事室

※本サービスは小山メディカルサービス株式会社が提供しています。



LINE公式アカウントはじめました

医事室・経営企画室

診療に関すること(受診・予約の相談・休診情報など)やイベント情報をお届けします！

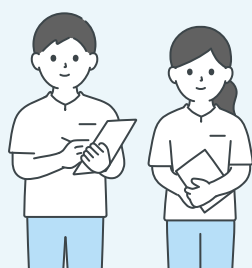
公式LINEでできること

- 1 受診のご相談
- 2 外来の予約・変更・キャンセル
- 3 健診・人間ドックの個人向け予約 など

登録は
こちらから



お友だち登録よろしく
お願いいたします！



みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

救急医療功労者熊本県知事表彰

9月9日に行われた救急医療功労者熊本県知事表彰式において、当院が表彰されました。

本表彰は救急医療への長年の貢献があった個人・団体等を対象としたもので、当院が開院当初より基本方針の一つである『救急医療を実践します』の下、宇城市・上天草市・宇土市にまたがる範囲の救急患者を受け入れてきたこと、また出前健康講座による地域住民への啓発活動や救急隊の実習受け入れや症例検討会の開催など人材育成にも力を入れていることが評価されました。

表彰式には吉岡正一院長が出席し、木村敬県知事より表彰状が授与された後、院長が人口減少や高齢化など厳しい状況は続いているが、これからも地域を支えるために尽力していきたいと謝辞を述べました。

総務室



部署紹介★

居宅介護支援センターみすみ

住み慣れた自宅で 自立した日常生活を送るための 支援を行っています



2013年10月1日に開所し13年目を迎えます。開所当初は一人で奮闘してまいりましたが、現在では二人体制となりました。介護保険の認定を受けた方が、住み慣れた自宅で、自立した日常生活を営むことができるよう、居宅サービス計画書(ケアプラン)を作成しています。また、適切なサービスを利用できるように市町村やサービス事業者、介護保険施設などとの連絡や調整を行い、在宅生活を支援しています。

